怪盗ちゃんとからの 挑戦状

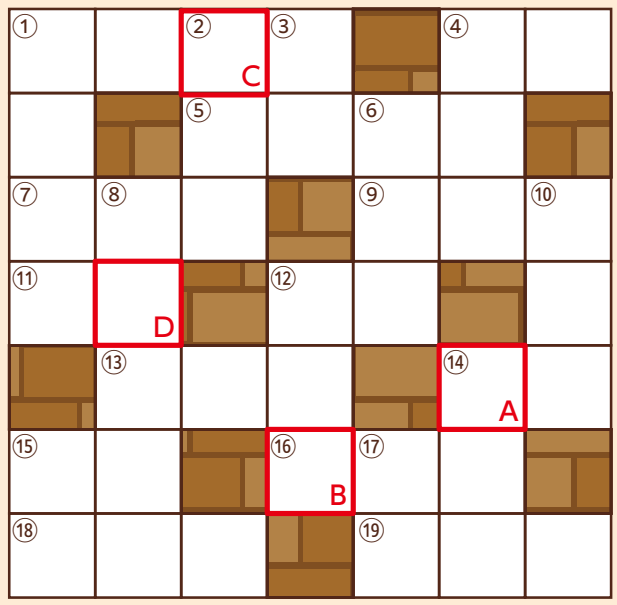
ナンバープレイス

【ルール】縦・横9列のすべてに、1～9までの数字が一つずつ入ります。太線で囲まれた3×3のブロックにも、1～9までの数字が一つずつ入ります。

	1						4	
		8				9		
2			8		5			3
	3			9	1		8	
		7		6		5		
	6		3	5			2	
7			5		6			1
		2				4		
	4						6	

クロスワードパズル

タテとヨコのカギをヒントに、マスの中に文字を入れてパズルを解いてください。A～Dのマスに入った文字でできる言葉は何でしょう？



タテのカギ

① 棒針やかぎ針で
② かぶせてレンジでチン
③ ドライブ途中に立ち寄る「〇〇の駅」
④ 童話「金の斧」の主人公
⑥ ドアをコツコツ
⑧ バイクなどでの遠出
⑩ ソムリエさんが詳しいお酒
⑫ 「がま口」もあります
⑭ 赤ちゃんにはドーナツ形？
⑮ 鬼退治のヒーローを生んだ（？）フルーツ
⑰ 座頭市さん、中に刀を仕込む

ヨコのカギ

① 霜降り肉の「霜」の正体
④ ソウゲは象の毛じゃないよ
⑤ 幻の生物、ずんぐり蛇
⑦ 柄付き、モジャモジャ雑巾
⑨ 輪をつかんで十字倒立！
⑪ イエスマンには言えないでしょう
⑫ 高すぎて、羊が跳び越えられず眠れず
⑬ リケジョのリケ
⑭ ヨロズと読む漢数字
⑮ 東大のは赤い
⑯ ボクシングで、側面からのパンチ！
⑱ ゲーセンで穴から顔出し、ボコッ
⑲ 野球のスコアボードでE

答えは

来週の「ちゃんと2月16日号」に掲載！
君にこの難問が解けるかな？

作者：マグナム・ハートさん

作者略歴：パズル作家歴25年、東京在住。
パズル誌、携帯アプリ、社内報などに問題を提供。
2011年単行本「連番禁止ナンプレ」（パブリック・ブレイン）出版。

第164回

カケスさんの自然散歩

by 中原"カケス"直彦（しこつ湖自然体験クラブ＊トゥレップ 理事）

海ワシとマレㇰ漁

２月はアイヌ語で「クウエカイ チュプ ＝ 仕掛け弓の台が壊れる月 」とも呼ばれるそうです（「アイヌ語沙流方言辞典」より）。寒さや雪が最も厳しい季節ですが、かつてのアイヌ民族には狩猟の適期。冬は「マタ」と言いますが、東北地方の狩猟者「マタギ」の「マタ」はこのアイヌ語から来ているという説もありますね。

狩りをするのは人間だけではありません。

千歳川にはサケが自然産卵するためにのぼって来ます。たくさんの親サケたちが産卵後に弱々しく流れに身をまかせています。それを狩り貴重な冬の食料として暮らしているのがオオワシとオジロワシたち。海岸で魚を狩ることから「海ワシの仲間」と呼ばれています。川に沿って飛来して、鋭い爪でサケを岸辺の雪氷の上に引き上げ、ついばみます。

私たちトゥレップは新年１月１４日（日）、この海ワシたちの観察会を行いました。千歳川の上流、「さけます情報館」のあるあたり、ウサクマイに出かけました。

対岸のワシを観る

望遠鏡の中の海ワシ

駐車場に着くと、もう上空にはワシたちの姿が。双眼鏡を構えて歓声があがります。

さらに上流に向けて河岸の雪の林道を進みます。江戸時代後期に「シコッ十六場所」と言われたサケの大漁場のひとつ「オセッコ」の辺りにさしかかりますと・・・。

なんと！そこで見ることができたのは、先住民族アイヌの伝統的な漁法・マレㇰ漁！　近年は千歳水族館を会場に体験会も行っているので、ご存じの方も増えて来た漁法です。

アイヌ民族はサケを「カムイチェプ ＝ カムイが川を上らせてくださる魚」と呼びます。また「シイペ ＝ 本当の食べ物」もサケを指す言葉であることからも解かるように、最も大切な食料であり、干し鮭は重要な交易品でもありました。

ところが江戸時代末から、明治時代になっても、自由にサケを獲ることは和民族の為政者や彼らに認可された商人たちによって禁じられて来た歴史があります。それによってアイヌ民族の受難の時代が長く続きました。

現代になり、千歳アイヌ協会は道などと協定を交わし2018年12月から毎冬、一定数のサケを伝統的な漁法で捕獲しアイヌ民族の技術と文化を継承しています。この日曜日は偶然その活動日だったというわけです。

マレㇰ漁

マレㇰは銛（もり）の先に回転式の鉤（かぎ）を付けた漁具です。その鉤の形と丈夫なサケの皮を引っ掛ける動きをよく観ると、それは海ワシたちの爪にそっくりなのです。

●プロフィール　カケスさん

中 原 直 彦　（社）日本自然保護協会の自然観察指導員。市民団体「しこつ湖自然体験クラブ＊トゥレップ」を2003年に設立。（財）アイヌ民族文化財団・活動アドバイザー。小学校非常勤講師、専門は環境学習。音楽活動ではブルーグラス・バンドを主宰。2009年8月より当コラムを執筆。